

体験談レポート

ユーザー： K.I(50代・男性) 愛知県
商品名： フラッドラッシュスキンメッシュソックス
スパイルフィルソックス
場所： 北海道・ニセコ
モイワ、アンヌプリ、チセヌプリ
テスト日時： 2010年1月8日(金)～11日(月)
アクティビティ： バックカントリースキー
テスト環境： 雪(11日は時々晴れ間のぞく)
山麓-5℃—山頂-10℃
当日レイヤリング： (アウター)ハードシェル
(ミッド)ドラウトセンサー
(インナー)スパイルフィルロングスリーブ
フラッドラッシュスキンメッシュロングスリーブ



アンヌプリ

～足先まで暖かく、いつも苦手な登りも足元しっかり確実に踏みしめ楽々に登れました～

プロスキーヤーYさんのパウダーキャンプに参加しました。
前日まで雪が殆ど降っておらず、おまけに風が強かったということで、コンディションを心配しましたが、
結果は、初日のみパウダーが浅かったものの、後の3日間は最高のコンディションでした。

【8日】

新千歳空港 10:00 に集合、移動中の車内で軽く軽食を済ませ、到着後すぐに滑走開始。
初日はモイワのツリースキーを楽しみました。
最初、ゲレンデで数本足慣らし、その後ゲレンデアリア外を滑走。雪はウインドパックされた固い雪の上に5cm程度の新雪がのっている状況。クラストもあまりなく、そう難しくない状況でした。
最高とは言えないまでもまずまずの状況でした。



ニセコモイワスキー場

【9日】

8日から雪が降り続き、ウインドパックもほぼリセット。
8日は1日中モイワのエリア外滑走。午後からは見返坂の斜面を滑走し、最高のパウダーを堪能。

【10日】

雪がずっと降り続き、山頂で風が若干強かったものの、リフト、ゴンドラは順調に稼働。
モイワ山頂ゲートから見返坂を滑降し、アンヌプリに滑り込む。
この日は、アンヌプリゴンドラと山頂リフトを使い、さらにアンヌプリ山頂ゲートから大沢とバックボウルの滑走を5～6回繰り返す。足がかりもない深雪でまるで飛ぶが如く感覚。最高！



見返坂の登行

【11日】

最終日で 14:00 まで。雪の合間から晴れ間が覗く状況。

この日はチセヌプリのスキー場へ。

最初はスキー場脇の深雪エリアから攻め、段々と雪秩父温泉の方の深雪エリアを滑走。
最後の最後は、シール装着し雪秩父側の尾根へ登行。約 15 分程度の登行でノートラックのバージンスノーの純白の斜面。真っ白なキャンバスに奇声をあげながら、蝶のようにシュプールを描く。

最高！

結果、殆ど登りもなくリフト、ゴンドラだけでこれだけパウダー三昧ができ最高の4日間を過ごせました。

【ソックスレイヤリングについて】

今回は山頂で体感温度はかなり寒かったが、足元はそんなに寒いとは感じませんでした。いつもなら、足先の感覚がなくなるのですが、しっかり足先の感覚もあり、寒くはなかったです。特に、3日目のアンヌプリ山頂リフトと山頂ゲートからのつぼ足登行は風もかなり強く、かなり寒かったですが、足先まで暖かく、いつも苦手な登りも足元しっかり確実に踏みしめ楽々に登れました。おかげで、スキーの滑りも良い影響が出たと思います。

スパイルフィルソックスは2足もっていたので2日間ずつはきましたが、フラッドラッシュスキメッシュソックスは1足しか持っておらず4日間履き続けました。フラッドラッシュスキメッシュソックスは臭いもなく快適でした。

【レイヤリング】

レイヤリングは他社ハードシェルとドラフトセンサー、インナーはスパイルフィルロングスリーブとフラッドラッシュスキメッシュロングスリーブを着用しました。

4日目のチセでリフト搭乗時に寒さを感じ、アンダーダウンを着込みましたが、少しの登りだけで暑くなり、アンダーダウンを脱ぎました。この時、汗をかきましたが、あつという間に汗がかわき、快適にスキーができ、いつもながら finetrack の提唱するレイヤリングの性能に感心しました。

この時の教訓として、リフトに乗っている時は少し寒く感じるぐらいの薄着がちょうど良いようです。



ニトヌプリ

(チセヌプリスキー場から)